

# 格安ピザ店 出店倍増

## 遠藤商事HD

遠藤商事ホールディングス(HD、東京・渋谷)は2016年の出店を15年比約2倍の50~60店に増やす。格安ピザ店「ナポリス」「ナポリ」を中心に出店する。景気の減速によって消費者の節約志向は強まっており、ピザを350円から提供する「ナポリス」などの需要は高まるとみられる。同社は格安ピザ店を約60店舗展開しているが、そのうちの約4割が首都圏に集中している。今後は出店が手薄な関西や九州、東北などにも積極的に出店し、認知度を高める。

同社はピザの焼き窯や生地の伸ばし機などを独自で開発している。店員の手作業による工程が少なくプロの調理人でなくても容易に調理できるため、人手の確保が比較的容易だ。製造の大半を機械化することでピザの品質も安定させることができる。全て手作業の場合と比べて人件費や調理時間を大幅に抑えるという独自の仕組みで、格安ピザ店のFC展開を可能にした。

続大輔取締役は「知名度の低い地域にも積極的に出店して、ワンコインで楽しめる格安ピザ店としてのブランドをいち早く確立したい」としている。

—日経MJ2016.6.17—

## 第一興商が郊外型コーヒー店

カラオケ最大手の第一興商は郊外型コーヒー店「青葉珈琲店」の展開に乗り出した。6月に開いた1号店は1席のスペースを広く設け、家族やシニア世代が落ち着いて料理を楽しめる空間にした。既存のカラオケ店の近くに出品し、カラオケ後に来店してもらおうといった需要も見込む。

埼玉県朝霞市の郊外に1号店を開いた。「自然の風を感じる、心地いい場所」をコンセプトにした店づくりで、緑色のソファや木目調のテラス席を用意した。店舗面積は約171平方メートルで、店内とテラス席に合わせて86席を設けた。近くにある「祭一丁&ビッグエコー朝霞店」があり、駐車場を共有する。

第一興商はカラオケ機器「DAM」を手がけるほか、カラオケ店「ビッグエコー」を全国で464店舗、レストランやバーなど飲食店を全国で206店舗展開する。カラオケ店と飲食店事業が売上高全体の約4割を占める。

—日経MJ2016.7.8—



## 野菜カフェ 東京で開店

ピエトロは21日、東京・京橋に野菜を中心としたメニューを提供する「ピエトロ野菜カフェ デリ&パスタ」を開店した。野菜を使ったパスタや弁当などを販売し、オフィスで働く若い女性を顧客として想定する。初日は雨天にもかかわらず朝から行列ができ、午前11時に予定していた開店時間を10分前倒した。テーブル席とカウンター席合わせ

### ピエトロ

て28席。野菜を使った総菜やしらすの「禅パスタ」などのメニューが主で、ランチが850円から、ディナーが1600円から。はごろもフーズとコラボしたサラダパスタなど弁当の持ち帰りもできる。平日夜などは果物や野菜を使った酒類も提供する。顧客の反応次第で、首都圏での追加出店を検討するという。

—MJ2016.7.22—

## —■ アジア・グローバル ■—

### チキンサンド、ブーム到来

米国でハンバーガーに続くヒット候補として脚光を浴びている食べ物がある。衣を付けて油で揚げた鶏肉をパンにはさんだ「フライドチキン・サンドイッチ」だ。フライドチキン・サンドイッチを主カメニューに据えたファストフードチェーンは出店攻勢を強めており、新興勢も続々と登場。国民食として全米で浸透しつつあるようだ。米国で近年、急速に人気が高まっているのが鶏肉料理のファストフードチェーンとして全米展開する米チックフィレイ(ジョージア州アトランタ市)だ。1番人気はチキン・サンドイッチ(約390円)。バンズからはみ出るほど大きなフライドチキンとピクルスが挟まれたシンプルなサンドイッチだ。

「米国初、米農務省(USDA)認定のオーガニック・ファストフードレストラン」として、カリフォルニア州で注目を集めているのが米オーガニック・クーだ。看板メニューはフライドチキン・サンドイッチ(約9ドル)。食材にはほぼすべてオーガニック食品を使用している。

ほかにも、新興バーガーチェーンの米シェイク・シャックが今年1月から新メニュー「チキン・シャック」の提供を全米で開始。韓国系米国人シェフ、デビッド・チャン氏がフライドチキン・サンドイッチを提供する「フク」を昨年マンハッタンに開店するなど、全米各地にブームが広がっている。